

2021年度学校関係者評価結果報告書

項目	評価・意見	学校の対応等
<p>基準1 教育理念・目的・育人人材像</p>	<p>2年にわたるコロナ禍により、世の中の価値観が大きく変化、学校も新しい対応が必要とされるがそれに対する今後の計画。</p>	<p>・教育目標を達成するため重視するのは、グローバル戦略、DX教育の推進、インキュベーションに取り組むべき重点3テーマに設定。</p> <p>・各テーマに対し、具体的な課題を5つの「プロジェクト」化し推進する。</p> <p>＜グローバル戦略＞</p> <p>①海外留学&海外インターン推進 PJ</p> <p>②EJグジュアリーコース新設 PJ</p> <p>＜DX教育の推進＞</p> <p>③3Dモデリストコース推進 PJ</p> <p>④AI教育推進 PJ</p> <p>＜インキュベーション＞</p> <p>⑤インキュベーション機能設置 PJ</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>コロナ禍における学校の対応。</p>	<p>・コロナ禍も2年目となり、教育環境が大きく変化する中、「オンライン授業」や「動画アーカイブ」などICTの活用を積極的に進め、ニューノーマルに対応した学習環境を整備。</p> <p>・各イベントに関しても感染症対策を講じ、どのような形で行えば実施できるかを考えながら進めてきた。</p> <p>・制限の中においても積極的な「攻め」の姿勢を貫き、教育の質を高いレベルで担保し、飛躍的な成果を上げた。</p> <p>・コロナ禍で学院行事の中止に伴う余剰予算を、「新事業」や「設備・環境改善」等、将来を見据えた投資として積極活用した。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>中長期計画に基づき、各学科でKGI・KPIを策定し、入口、中身、出口を明確にして教育活動を進めていく。 その上で新しくスタートしたカリキュラムについての説明。</p>	<p>・教育課程編成委員会資料2021年度より、ファッションテック専門スクール「東京ファッションテクノロジーラボ(略称:TFL)」と教育提携をし、ファッション業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)につながる職種「3Dモデリスト」育成を目的とした専門コース「3Dモデリストコース」を全国のファッション専門学校で初めて設置。</p> <p>・本年度より「デジタル・AIのビジネス活用」を本格的にカリキュラムに導入。キックオフとして、アパレル領域での企業再生のスペシャリスト、日本を代表する戦略コンサルタント河合拓氏による特別講義を実施。通常カリキュラムでは、ファッションテック企業の(株)ニューロープの酒井聡氏を招き、ワークショップ形式の授業を前後期・各6回、対面で実施。</p>

2021年度学校関係者評価結果報告書

<p>基準4 学修成果</p>	<p>就職状況について。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・求人企業数は136社で昨年(105社)比30%UPであった。業界動向も上向きつつある状態。 ・今年度の特筆すべきところは、企画系専門職において規模は小さくも拘りのある専門型のアパレル会社、縫製工場における独自の企画への取り組みから縫製職のみならず企画職の募集が出てきたり、従来のSPI型アパレルの動きが不透明感がある中で新たな動きとして今後も注目すべきところである。 ・販売職の募集は秋口から企業様も先の見通しが見えてきたのか再募集の動きが活発になってきている。 ・全体としてはコロナ前のほぼ7割まで戻り、世間的には回復してきたが業界的にはまだまだ不透明感がある。楽観はできないが、回復基調ではある。
<p>基準5 学生支援</p>	<p>現状の学生支援に関して。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育無償化の一環として昨年度より給付型の修学支援奨学金が採用され、全体の15%に当たる117名の学生が利用した。この制度により経済的理由で退学する学生が減少した。
<p>基準6 教育環境</p>	<p>企業コラボや教員のレベルアップに関する方策について。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携授業を強化。特に産地におけるコラボに力を入れ、今後継続して取り組む予定。 ・2022年1月からPolimoda校マスター課程へ教員の蓬萊彩奈が留学。イタリアにおけるデザイン指導方法を学ぶ。 ・セントラル・セントマーチンズで知られるロンドン芸術大学の教諭であるOleg Mitrofanov氏による特別講義を2021年10月より1年間にわたって実施。 デザイン教員及びスーパーデザイナー学科、ファッションクリエイター学科に対するセミナー形式の講義を行う。 講義内容は、“Visual Presentation”を中心に、ヨーロッパの服装史、ポートフォリオの作成方法等。

2021年度学校関係者評価結果報告書

<p>基準7 学生募集と 受入れ</p>	<p>学生募集についての取り組み。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度の学生募集イベントは、来校型オープンキャンパスと並行し、来校型の個別見学会、「Zoom」によるオンライン型の個別相談会を実施。 ・Instagramの動画配信機能を活用したインスタライブで作品展示見学できるイベントも開催。 ・体験入学は密を避けるため中止していたが、内容を簡素化し12月以降再開する。 ・前年、動画コンテンツを中心に開設したサイト「WEBオープンキャンパスサイト」に新たなコンテンツを加え、入学希望者が知りたい情報にスムーズにたどり着けるサイト「受験生応援サイト」としてリニューアル。
<p>基準8 財務</p>	<p>財政面での状況について。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は在校生の増加に伴い収入も増加した。 ・過去20年以上無借金経営を堅持し、財務基盤は安定している。 ・今後も教員研修、設備の刷新・増強、海外とのネットワークづくりなど学校の資産となる有形無形のものへの投資は引き続き行うが、2022年度以降は学生数の減少が予測され慎重な予算を組む方向。
<p>基準9 法令等の順 守</p>	<p>情報セキュリティについての今後の対応。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティプロジェクトとして「サイバートラスト株式会社」と契約。 ・現状調査から開始し、規程の策定、教職員向け情報セキュリティ教育セミナー、経営層向け講習会などを実施。
<p>基準10 社会貢献 地域貢献</p>	<p>SDGsへの取り組みについて。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当校におけるSDGsアクションは、4番の「質の高い教育をみんなに」を実現するべく、常に教育の質を高める取り組みを続ける事。 ・DXが急速に進み、ますますボーダレスになる世界において、グローバルに物事を考えることができ、テクノロジーを自在に活用し、新しい価値を生み出せるクリエイティブな人材育成を目指す。 ・これを実現するために「グローバル戦略」「DX教育の推進」を重点テーマに据え、教育に取り組んでいく。